

年 組 名前：

県内11市町村「消滅の可能性」

民間組織「人口戦略会議」が4月24日、「消滅の可能性がある」

と見なした市町村の一覧を公表

しました。山梨県

内は27市町村の

うち、都留、大月、

韮崎、上野原、甲

州、草川、身延、

南部、富士川、西



消滅の可能性が指摘された都留市内の商店街

桂、道志の11市町村が当てはまりました。子どもを産む年代の女性が50%以上減るという推計が根拠になっています。忍野村は100年後も若い女性が多い「自立持続可能性自治体」、甲府や富士吉田など15市町村が「その他」でした。「消滅」は人口が減って自治体を運営することができなくなる状況を指します。2014年に別の組織が公表した消滅可能性自治体は県内で16市町村でしたが、今回は富士吉田など7市町村が外れ、都留市と西桂町が新たに加わりました。20~30代の女性が今後30年で半数以下になるとされています。

(2024年5月2日付 山梨日日新聞 週刊こぴっと 14面)

問1 民間組織が公表した「消滅の可能性がある」と見なした市町村が、県内に何市町村ありますか。

.....市町村

問2 「消滅の可能性がある」とした、その根拠を教えてください。

.....

問3 忍野村が、「自立持続可能性自治体」となった理由を教えてください。

.....

教育目的以外の無断転載 複製および頒布は禁止します

Copyright © 2024 山梨日日新聞社 THE YAMANASHI NICHINICHI SHIMBUN.